



## 「JSRグループ CSR レポート 2015」

### 第三者検証 意見書

2015年7月8日

JSR 株式会社

取締役社長 小柴 満信 殿

一般社団法人 日本化学工業協会

レスポンシブル・ケア検証センター長

高瀬純治



#### ■ 報告書検証の目的

レスポンシブル・ケア報告書検証は、JSR株式会社が作成した「JSRグループ CSR レポート 2015 の冊子版及びWeb版」(以後、報告書と略す)に記載されている、下記の事項について、化学業界の専門家であるレスポンシブル・ケア検証センターが意見を表明することを目的としています。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
- 3) レスポンシブル・ケア活動及びCSR活動について
- 4) 報告書の特徴について

#### ■ 検証の手順

- ・本社において、各サイト(事業所、工場)から報告される数値の集計方法の合理性、及び数値以外の記載情報の正確性について調査を行いました。調査は、報告書の内容について各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、並びに彼らより資料提示・説明を受けることにより行いました。
- ・四日市工場において、本社に報告する数値の算出方法の合理性、数値の正確性、及び数値以外の記載情報の正確性の調査を行いました。四日市工場での調査は、各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、資料提示・説明を受けること、並びに証拠物件と照合することにより行いました。
- ・数値及び記載情報の調査についてはサンプリング手法を適用しました。

#### ■ 意見

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
  - ・数値の算出・集計方法は、本社及び四日市工場において、合理的な方法を採用しています。
  - ・調査した範囲に於いて、数値は正確に算出・集計されています。
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
  - ・報告書に記載された情報は、正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性、文章の分かり易さ或いは冊子版とWeb版の関連性・整合性に関し若干問題があることを指摘しましたが、現報告書では修正されており、現在修正すべき重要な事項は認められません。
- 3) レスポンシブル・ケア活動及びCSR活動について
  - ・昨年7月の死亡災害の対応として、社長のリーダーシップの下に全社的なプロジェクトを発足させ、全事業所の危険個所の洗い出しとその対策を徹底すると共に、これまでの安全文化を検証し安全基盤の再構築等踏み込んだ改善策に取り組まれていることを評価します。
  - ・レスポンシブル・ケア(環境・安全・健康)活動のパフォーマンス・データの集計対象会社が国内・海外グループ会社ともに年々増加していること、また二酸化炭素の排出量の集計範囲・スコープ3のカテゴリー拡充に努めている等情報公開に積極的に取り組んでいることを評価します。
  - ・四日市工場正門前に安全モニュメントを設置し昨年の死亡災害から学んだ教訓を風化させずに強固な安全文化を将来に亘って発展させることを誓い、7月23日に除幕式、安全式典を実施することを評価すると共に、今後の継続的な保安力の向上活動に期待します。
  - ・四日市工場は、「地域社会との共生」という基本姿勢の下で、工場周辺の美化活動、工場視察会、小・中学生の環境教育・理科授業、他各種ボランティア活動そしてJSRグループ社員・家族と地域住民と様々な企画と一緒に楽しむハーモニーフェスタを開催する等住民との触れ合いを大切にする活動を種々行っていることを評価します。
- 4) 報告書の特徴について
  - ・JSRグループの取り組む重要課題を特定し、冊子版ではこの重要課題の推進項目ごとに、2014年度の目標と実績・評価を報告しています。
  - ・レスポンシブル・ケア(環境・安全・健康)の成果報告のパフォーマンス・データ類はWeb版に集約されています。

以上